

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)ヴェルディ大州4丁目式番館 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数
					全体
Q 建築物の環境品質					3.3
Q1 室内環境			0.40	-	3.9
1 音環境		4.0	0.15	3.4	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音		5.0	0.50	3.9	0.50
1 開口部遮音性能	T-2確保	5.0	1.00	5.0	0.30
2 界壁遮音性能	コンクリート躯体厚さを200mm確保	3.0	-	4.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-
2 温熱環境		2.6	0.35	5.0	1.00
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	1.00
1 室温		3.0	0.63	-	-
2 外皮性能	各住戸外皮平均熱貫流率0.6以下を確保	3.0	0.38	5.0	1.00
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-
3 光・視環境		3.5	0.25	3.3	1.00
3.1 屋光利用		4.2	0.43	4.0	0.35
1 屋光率	居室に対して開口の大きいサッシを採用	5.0	0.60	5.0	0.50
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		-	-	3.0	0.35
1 屋光制御		-	-	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.21	-	-
3.4 照明制御		3.0	0.36	3.0	0.29
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63
1 化学汚染物質	住戸内建築材料は、F☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		2.5	0.40	3.0	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	3.0	0.60
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00
3 バリアフリー計画		1.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	3.0	0.40
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-
3 内装計画	共用部は美観に努め、住戸内は利便性を高める。	4.0	1.00	3.0	0.50
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		2.7	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		2.6	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-

3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			計画建物を高層とすることで周囲に空地を確保し、通風をよくした。	5.0	0.40	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			共用部BPI=0.50	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]: 0.72	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			設備機器は節水用、節水機能付のものを使用。	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			広島市緑化推進制度の定める緑化面積を確保。	4.8	0.33	-	4.8
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.33	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	